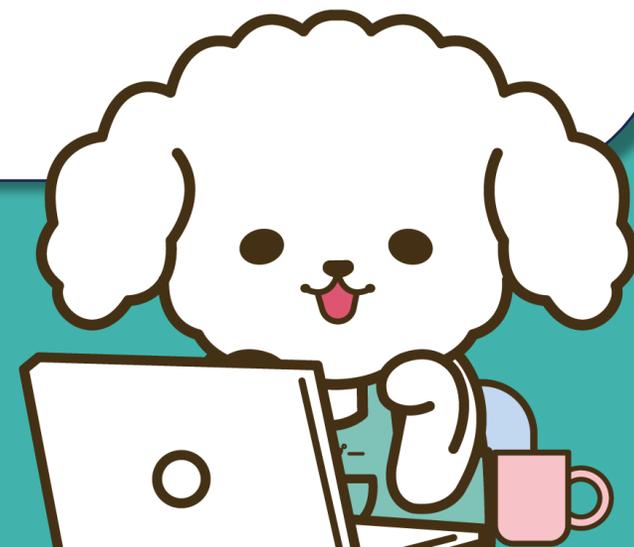


# 兵庫県

ケアプランデータ連携システムの  
導入にかかる調査等事業

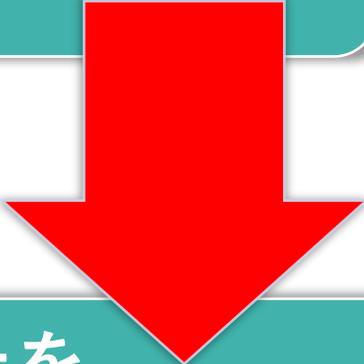
ケアプランデータ連携システム調査報告



2024年9月12日

ケアプランデータ連携システム説明を開催

開催後にアンケートを実施



ケアプランデータ連携システムを

すでに導入している：11%

導入を検討したい：77%

# ケアプランデータ連携システムの利用申請状況

エリア	2024/9/12時点 (a)	2025/2/5時点 (b)	増加件数 (b-a)	増加率 (b/a)
全国	8,164	9,230	1,066	113.1%
兵庫県	431	491	60	113.9%
兵庫県 姫路市	43	72	29	167.4%

# 調査報告

調査にあたり、以下の事業所にご協力いただきました

居宅介護支援事業所・地域包括支援センター：8件

サービス事業所：10件

## 事務職員の配置

- ・ 居宅介護支援事業所・地域包括支援センター  
：8事業所中、6事業所が配置（常勤換算0.6）
- ・ サービス事業所：10事業所中、全事業所が配置（常勤換算1.5人）

## 業務内容

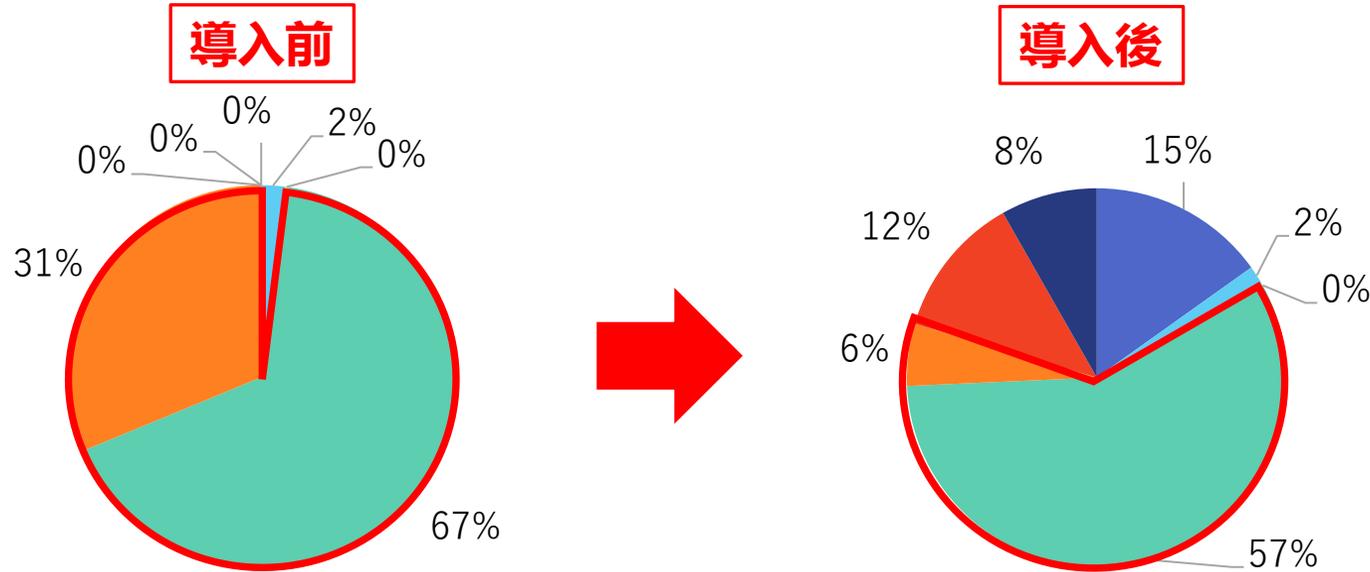
- ・ 提供票の送付ならびに受領が業務の中心となっている

## ケアプランデータ連携 を導入している事業所 の割合

- ・ 居宅介護支援事業所・地域包括支援センター：9%
- ・ サービス事業所：7%

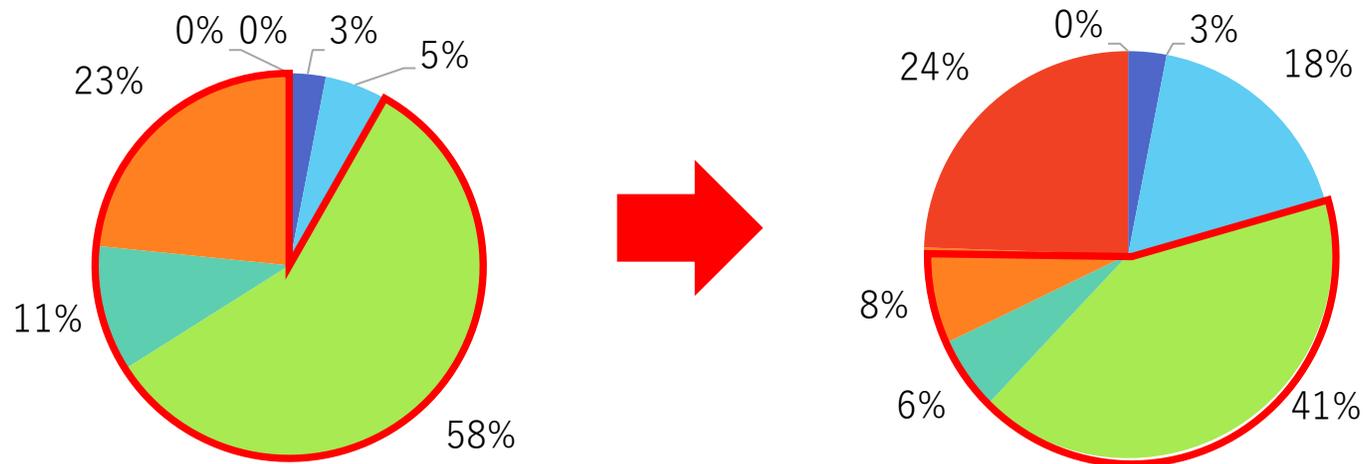
# 提供票の提出方法：総枚数の割合

居宅介護支援事業所・地域包括支援センターの場合 紙の使用率 導入前：98% → 導入後：75% (23%削減)



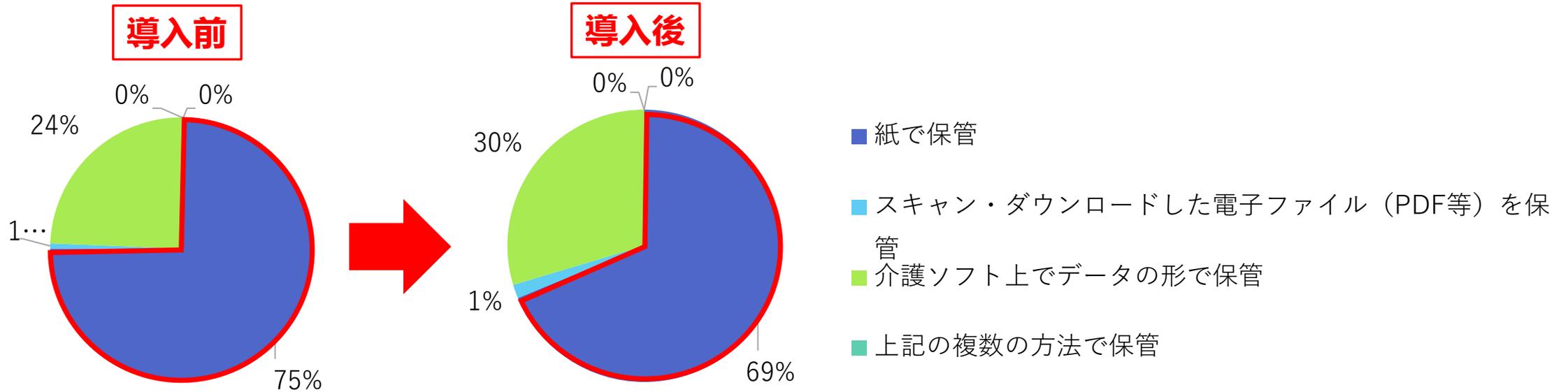
- 介護ソフト使って送信
- メール送信 (PDF等)
- 紙 (FAX)
- 紙 (郵送)
- 紙 (持参)
- ケアプランデータ連携システム

サービス事業所の場合 紙の使用率 導入前：92% → 導入後：55% (37%削減)

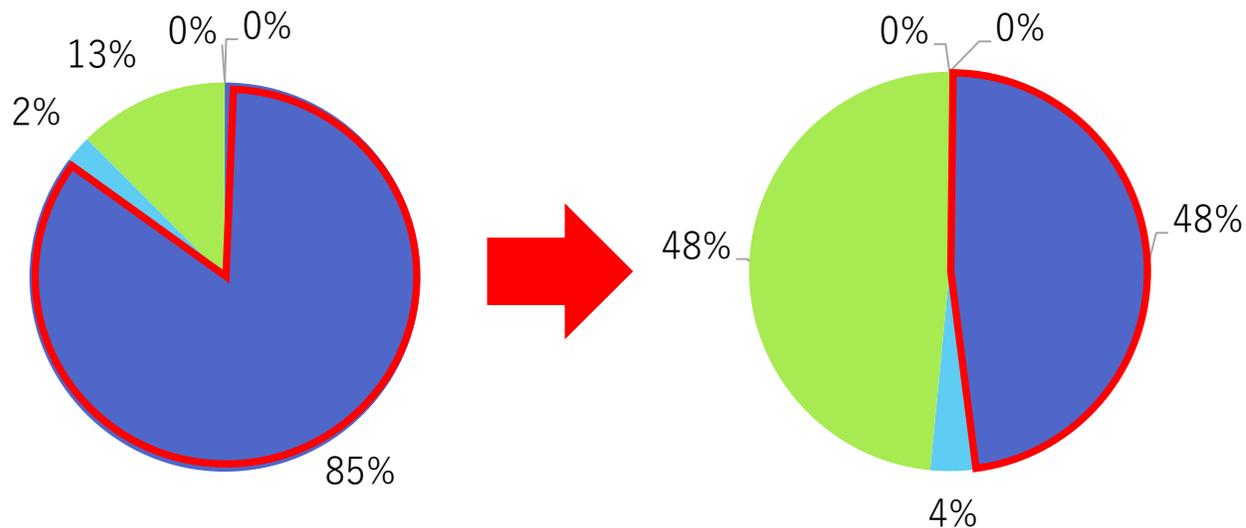


# 提供票の主な保管方法

居宅介護支援事業所・地域包括支援センターの場合 紙の使用率 導入前：75% → 導入後：69%（6%削減）



サービス事業所の場合 紙の使用率 導入前：85% → 導入後：48%（37%削減）



# 経済効果

## 居宅介護支援事業所・地域包括支援センターの例

### 導入後の費用対効果を診断 かんたんシミュレーションツール

※令和2年度老人保健健康促進事業「介護分野の生産性向上に向けたICTの更なる活用に関する調査研究」に基づいて算出しているため、シミュレーション数値は主に居宅介護支援事業所における概算値となっています。

あなたの事業所について教えてください	入力欄
1. 提供票作成・共有業務を行う職員の人数 ※1事業所当たりの、提供票作成・共有業務を行う職員数を入力ください	7 人
2. 事務所数 ※事業所番号が複数ある場合、その数を入力ください	1 事業所
3. 取引事業所数 ※提供票共有先の事業所数	70 事業所
4. 取引事業所の内、ケアプランデータ連携システムの対象となる事業所数 ※ケアプランデータ連携システムを導入（もしくは導入見込み）のある事業所数を入力ください	7 事業所
5. ご利用者の人数 ※「事業所数」で記入した事業所全体の利用者の人数を入力ください	140 人

シミュレーション結果は、概算値であり、令和2年度老人保健健康促進事業「介護分野の生産性向上に向けたICTの更なる活用に関する調査研究」に基づいて算出しています。

結果出力のページに結果が表示されます

# 結果

## あなたの事業所のシュミレーション結果

※令和2年度老人保健健康促進事業「介護分野の生産性向上に向けたICTの更なる活用に関する調査研究」に基づいて算出しているため、シュミレーション数値は主に居宅介護支援事業所における概算値となっています。

### ケアプランデータ連携システムを導入後の あなたの事業所の削減額、削減時間(目安)を診断しました

**削減額** 506,102 円/年間

**削減時間** 33.0 時間/年間

シュミレーション結果は、概算値であり、令和2年度老人保健健康促進事業「介護分野の生産性向上に向けたICTの更なる活用に関する調査研究」に基づいて算出しています。

詳細な内訳

金額			
項目	導入前	導入後	差分
人件費	7,798,459円	7,286,880円	511,579円
印刷費	7,392円	6,653円	739円
通信費 (FAX)	22,176円	19,958円	2,218円
郵送費	63,840円	57,456円	6,384円
交通費	61,824円	55,642円	6,182円
月額ソフトウェア費	377,004円	377,004円	0円
ケアプランデータ連携システム利用料	0円	21,000円	-21,000円
合計			506,102円

時間	導入前	導入後	差分
一人当たり	71.8時間	67.1時間	4.7時間
事務所当たり	502.9時間	469.9時間	33.0時間

## 導入後の費用対効果を診断 かんたんシミュレーションツール

※令和2年度老人保健健康促進事業「介護分野の生産性向上に向けたICTの更なる活用に関する調査研究」に基づいて算出しているため、シミュレーション数値は主に居宅介護支援事業所における概算値となっています。

あなたの事業所について教えてください	入力欄
1. 提供票作成・共有業務を行う職員の人数 ※1事業所当たりの、提供票作成・共有業務を行う職員数を入力ください	4 人
2. 事務所数 ※事業所番号が複数ある場合、その数を入力ください	1 事業所
3. 取引事業所数 ※提供票共有先の事業所数	37 事業所
4. 取引事業所の内、ケアプランデータ連携システムの対象となる事業所数 ※ケアプランデータ連携システムを導入（もしくは導入見込み）のある事業所数を入力ください	4 事業所
5. ご利用者の人数 ※「事業所数」で記入した事業所全体の利用者の人数を入力ください	288 人

シミュレーション結果は、概算値であり、令和2年度老人保健健康促進事業「介護分野の生産性向上に向けたICTの更なる活用に関する調査研究」に基づいて算出しています。

結果出力のページに結果が表示されます

## あなたの事業所のシュミレーション結果

※令和2年度老人保健健康促進事業「介護分野の生産性向上に向けたICTの更なる活用に関する調査研究」に基づいて算出しているため、シュミレーション数値は主に居宅介護支援事業所における概算値となっています。

ケアプランデータ連携システムを導入後の  
あなたの事業所の削減額、削減時間(目安)を診断しました

削減額 **663,648** 円/年間

削減時間 **73.4** 時間/年間

シュミレーション結果は、概算値であり、令和2年度老人保健健康促進事業「介護分野の生産性向上に向けたICTの更なる活用に関する調査研究」に基づいて算出しています。

詳細な内訳

結果

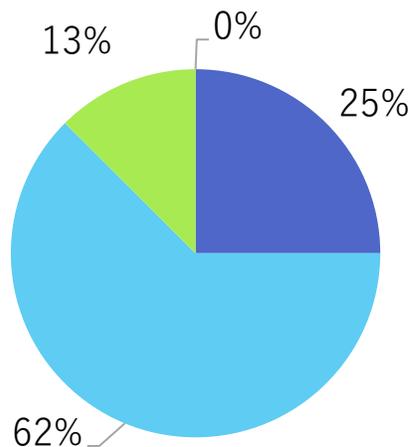
金額	導入前	導入後	差分
人件費	9,167,168円	8,517,042円	650,126円
印刷費	15,206円	13,562円	1,644円
通信費 (FAX)	45,619円	40,687円	4,932円
郵送費	131,328円	117,130円	14,198円
交通費	127,181円	113,432円	13,749円
月額ソフトウェア費	377,004円	377,004円	0円
ケアプランデータ連携システム利用料	0円	21,000円	-21,000円
合計			663,648円

時間	導入前	導入後	差分
一人当たり	258.6時間	240.3時間	18.3時間
事務所当たり	1,034.5時間	961.1時間	73.4時間

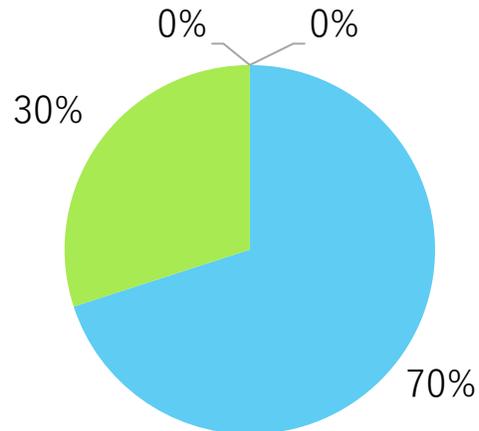
# 情報共有の効果・満足度

## ケアプランデータ連携システム導入後の業務手順に対する満足度

居宅介護支援事業所・地域包括支援センター



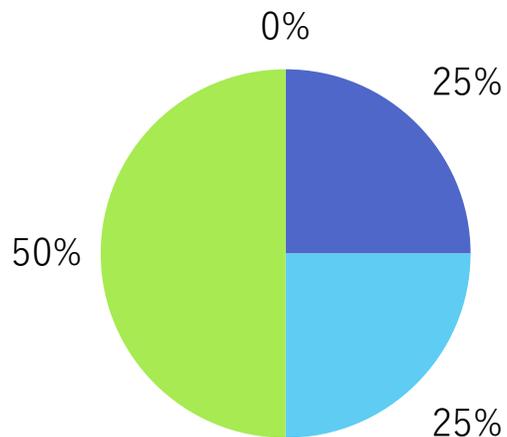
サービス事業所



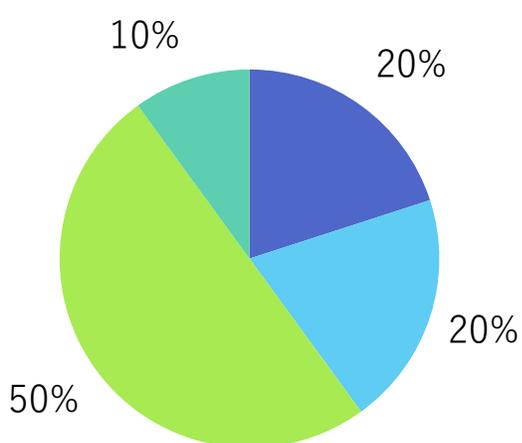
- 非常に満足
- どちらかと言えば満足
- どちらかと言えば不満
- 非常に不満

## ケアプランデータ連携システム導入による業務負担軽減効果

居宅介護支援事業所・地域包括支援センター



サービス事業所

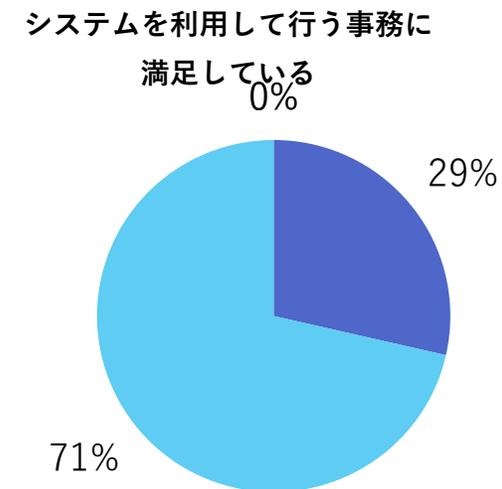
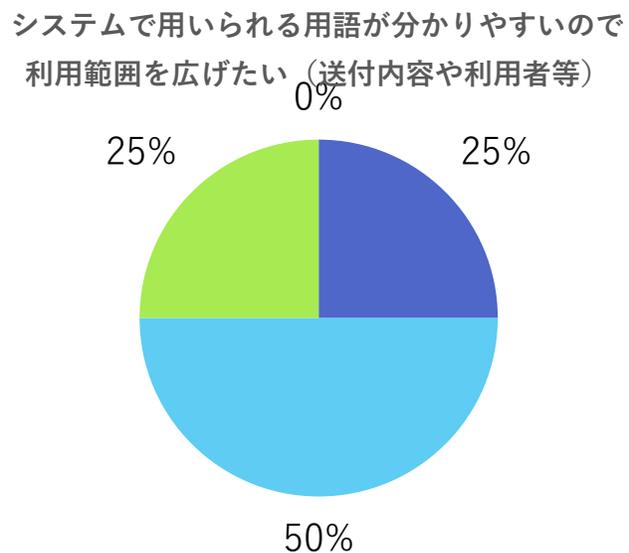
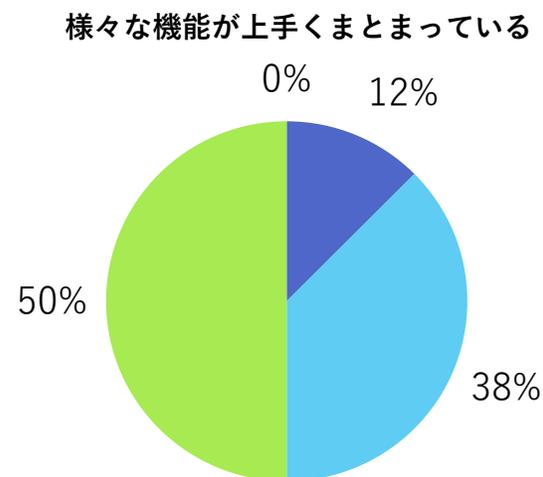
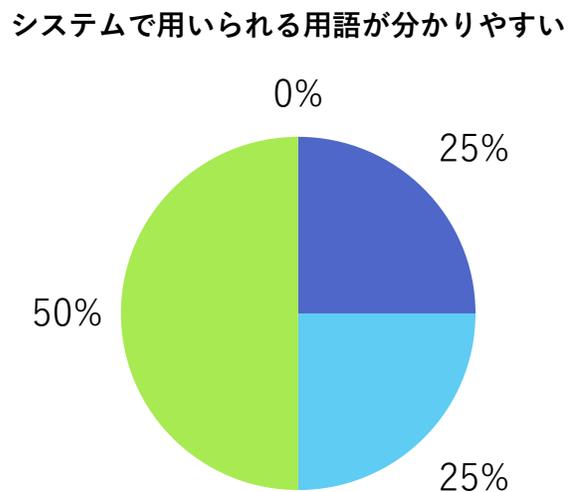
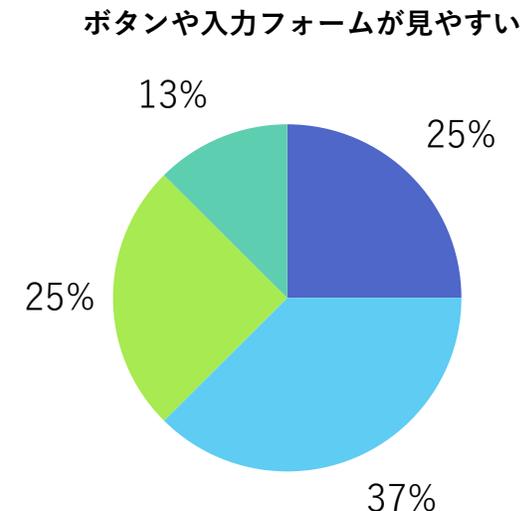
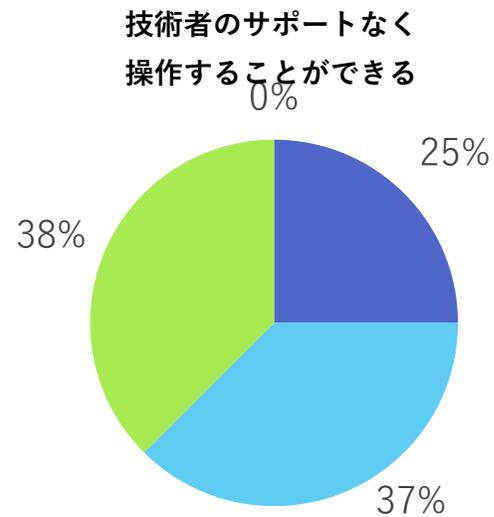
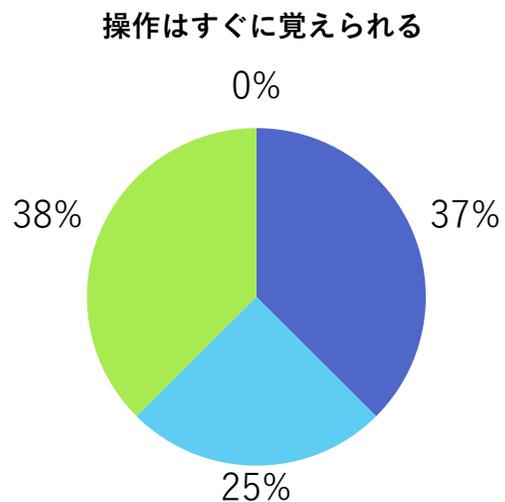
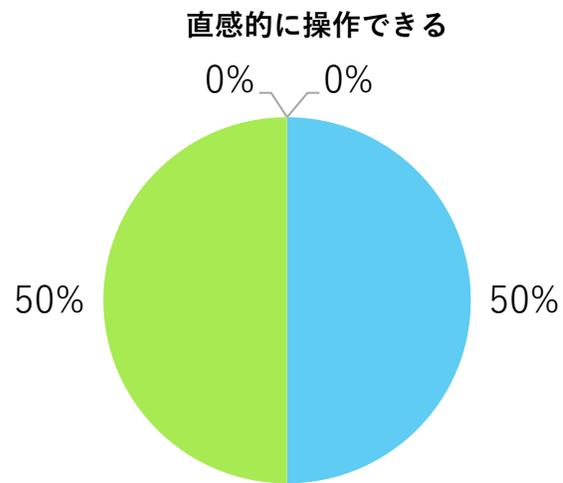


- 大きな効果があった
- 効果があった
- 効果はあったが少ない
- ほとんど効果なし

# ケアプランデータ連携システムに対する所感について

## 居宅介護支援事業所・地域包括支援センター

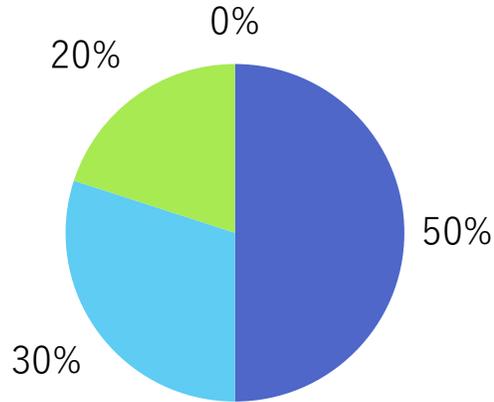
- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない



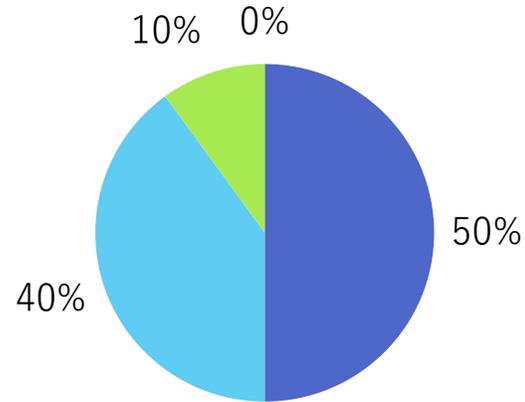
# サービス事業所

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

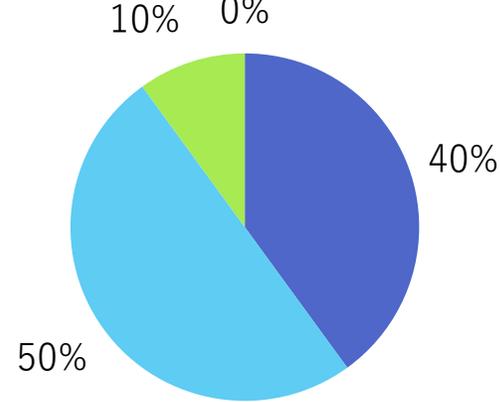
直感的に操作できる



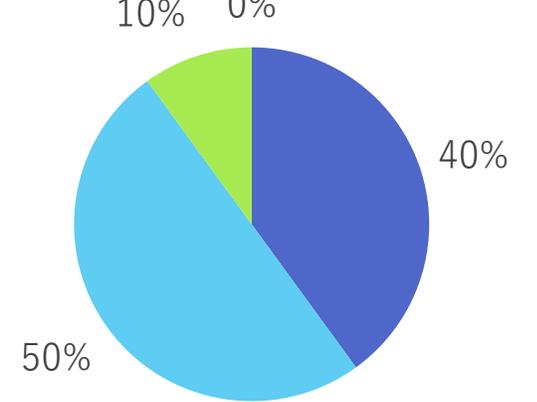
操作はすぐに覚えられる



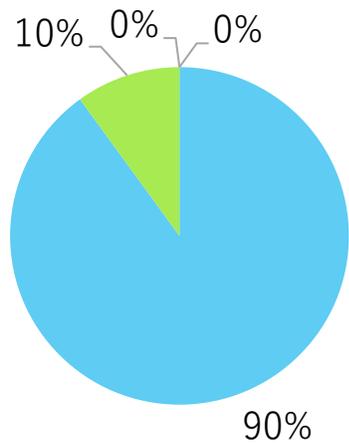
技術者のサポートなく  
操作することができる



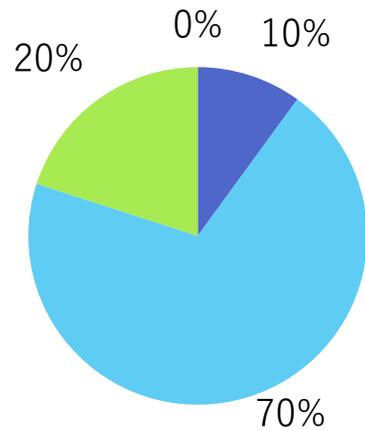
ボタンや入力フォームが見やすい



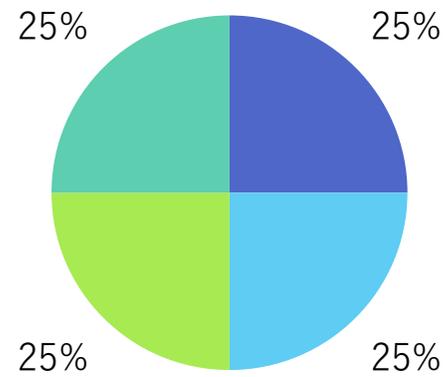
システムで用いられる用語が分かりやすい



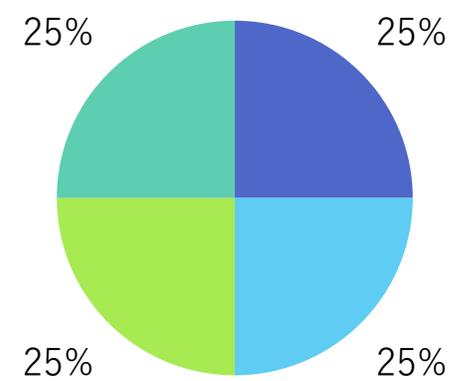
様々な機能が上手くまとまっている



システムで用いられる用語が分かりやすいので  
利用範囲を広げたい（送付内容や利用者等）

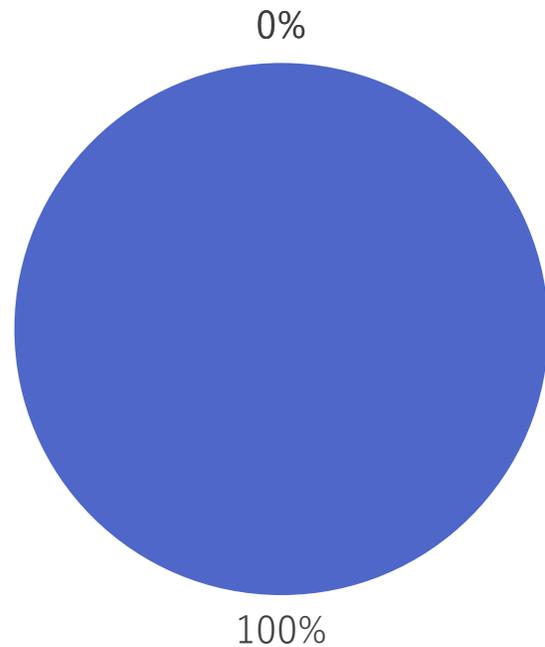


システムを利用して行う事務に  
満足している

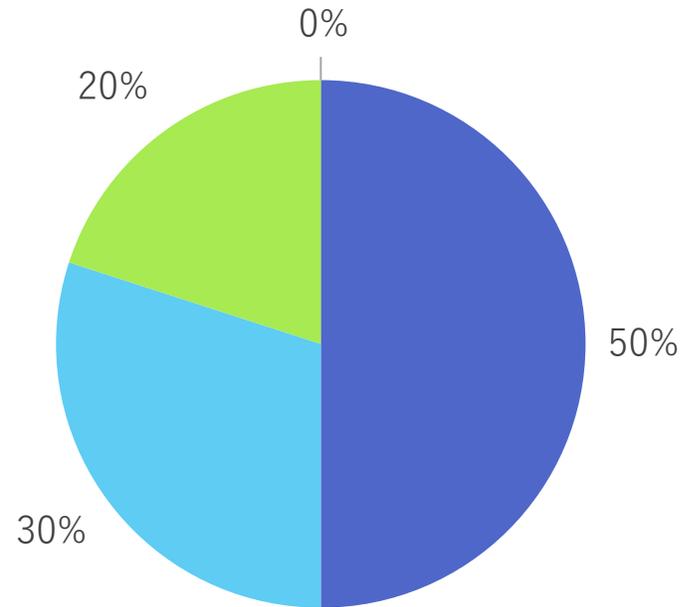


# 今後もケアプランデータ連携システムを使用したいですか。

居宅介護支援事業所・地域包括支援センター



サービス事業所

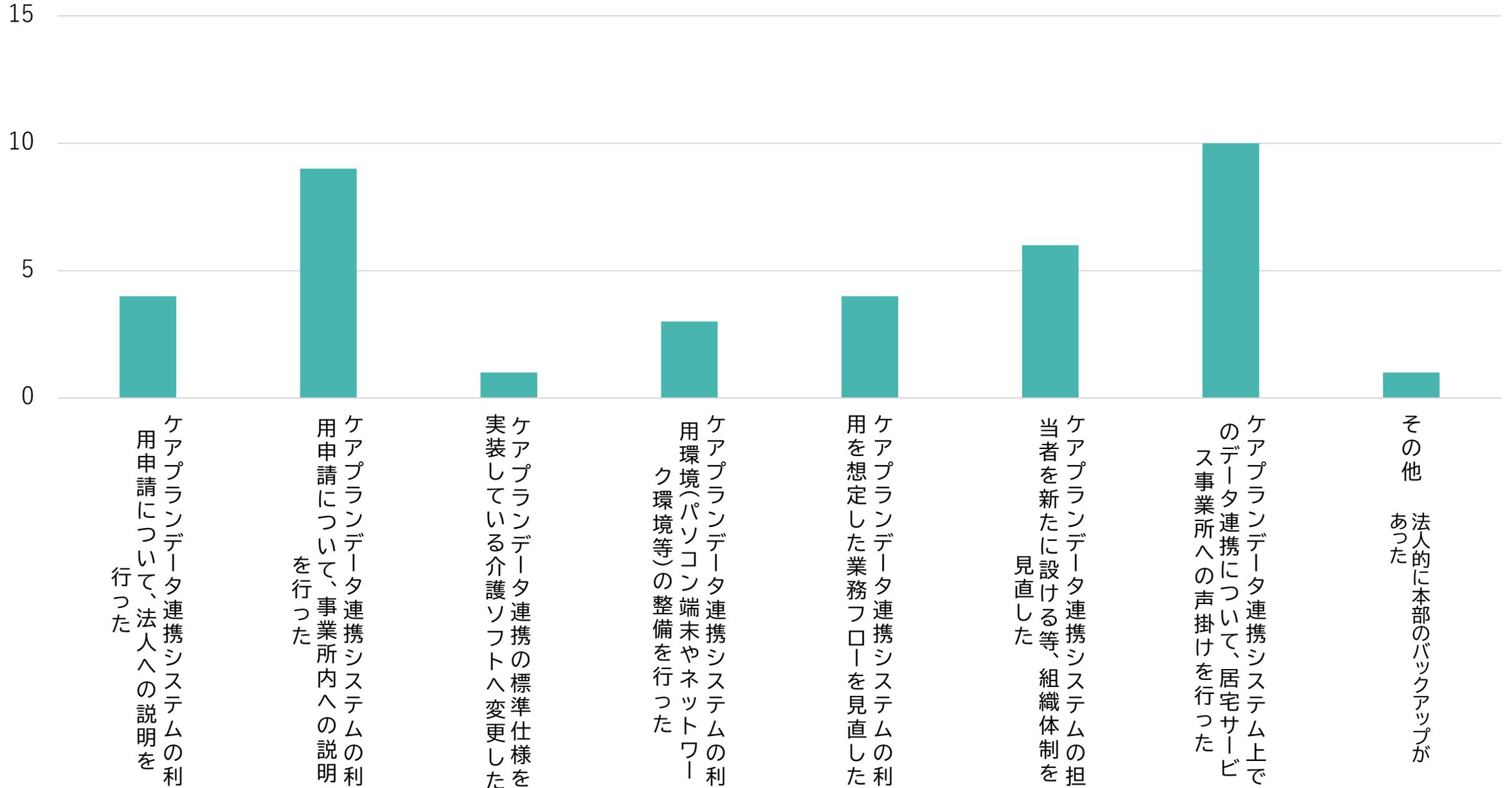


- 使用したい
- どちらかと言えば使用したい
- どちらかと言えば使用したくない
- 使用したくない

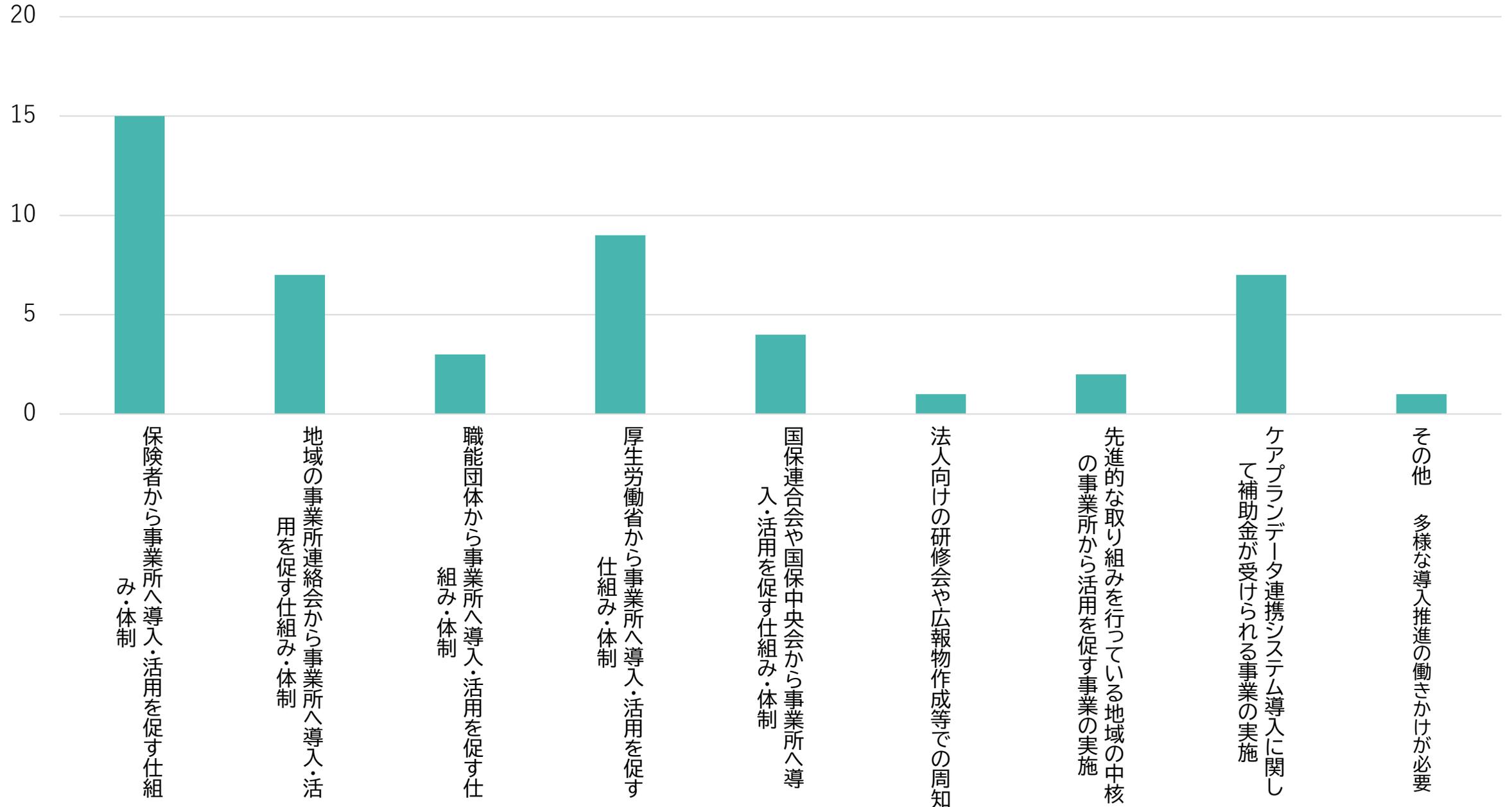
使用したい、どちらかと言えば使用したいを選択した理由

- ・ ペーパーレス（保管場所）
- ・ 業務効率（時間）

# システム利用開始にあたって行った工夫



# 今後、システムの導入・活用を促すために必要な体制や事業についての要望



ご清聴ありがとうございました



一般社団法人 兵庫県介護支援専門員協会